



ふれあい 放水路

2005
(平成17年)
第131号
2月



神戸川に泳ぐハクチョウ

冬の使者とも言われる水鳥が今年も数多く神戸川に訪れました。カモやハクチョウは水面に漂い、川の中の餌をしきりについでんでいます。

神戸川の古志大橋付近には、コブハクチョウと思われる数羽が優雅に泳ぐ姿が見られます。川べりに行くと近寄ってくるので、餌付けでもされているのでしょうか。

ハクチョウは越冬のため日本にやってくるものと思われませんが、このコブハクチョウは飼育用に外国から連れてこられたもので、一年を通して同じ場所に止まっていることが多く、動物園や公園などでよく見かけられます。渡りをしないため、時季はずれに川辺などで見かけるハクチョウはきつとこのコブハクチョウでしょう。

向かって右がオス、左がメスのつがいのようです。仲むつまじく泳ぐ姿は微笑ましい情景です。これら野鳥たちも安心して暮らせるような河川環境づくりに今後も取り組んで参ります。

神戸堰の基礎杭施工状況について

堰側面図

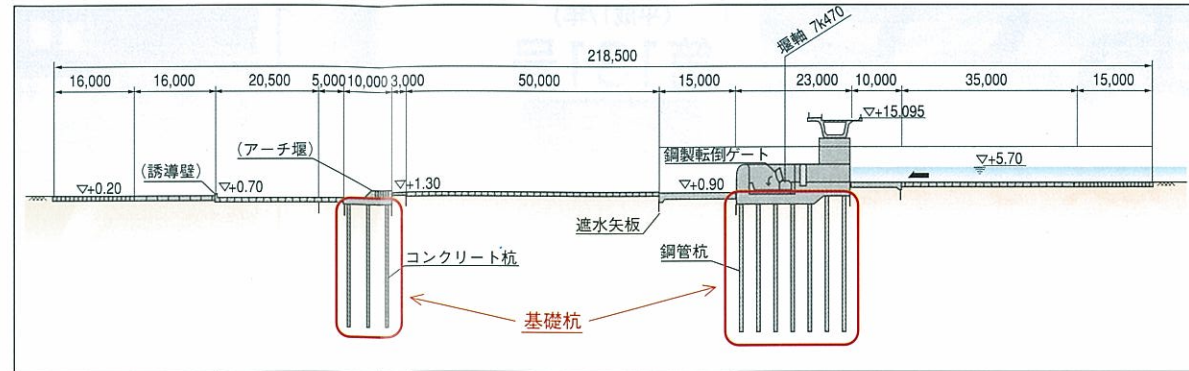
昨年の10月に着工しました神戸堰改築工事は、現在、右岸側の基礎杭の施工が完了しました。

基礎杭は、新堰の堰柱、橋台、管理橋、魚道、取付擁壁、アーチ堰の重さを支えるためのもので、地中の良質な地盤まで3種類の長さ(直径)の杭を1093本打ち込みます。

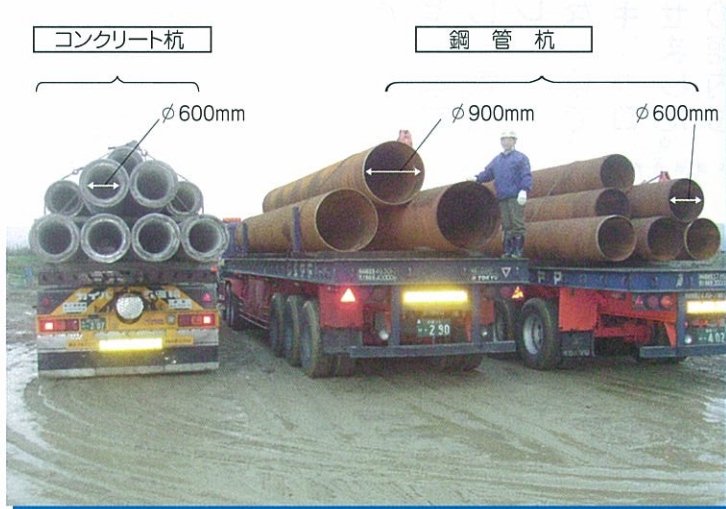
今月は、基礎杭の施工状況について紹介します。

今回工事の基礎杭の施工は中掘工法で行いました

今回、周辺環境への配慮から振動騒音の小さい中掘工法を採用しました。これは、杭の中にオーガシャフトを挿入し、杭先端地盤を掘削しながら圧入し、その後、杭先端部に※セメントミルクを噴出して杭を設置する工法です。



① 杭搬入状況



杭はあらかじめ工場で製作し、現場に搬入します。杭の種類(コンクリート杭、鋼管杭)は、支える構造物の規模により決定しています。

② 杭建て込み状況



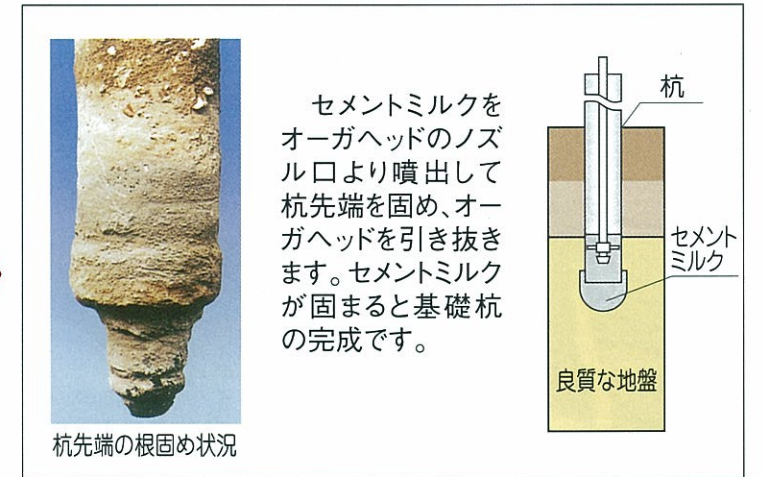
杭の中にオーガシャフトを挿入し、杭打機で杭を建て込みます。

③ 杭圧入状況



オーガを回転させ、水の力を利用して土砂を排出します。

④ セメントミルク注入



セメントミルクをオーガヘッドのノズル口より噴出して杭先端を固め、オーガヘッドを引き抜きます。セメントミルクが固まると基礎杭の完成です。

※セメントミルクとは、セメントと水を混合したものです。

■ オーガヘッド写真



圧入は、オーガヘッドから水を噴射し、杭と共に回転しながら行います。

■ 杭の継手溶接状況



杭の長さが長いので、継杭により下杭と上杭を溶接して施工します。

■ 杭頭状況写真



仕上がりはこのようになります。

★現場からひとこと

当現場は、昨年10月より開始していますが、基礎杭打撃工事も終了に近づきました。これから掘削、構造物工事へと移って参ります。

地元の皆様のご協力・ご指導を得て工事に取り組み、無災害で工事を完成させたいと思っております。



工事請負企業の現場代理人

西江 寛次

ふれあい
放水路
通信

宍道湖
バドゥオツチング'05
開催



斐伊川水系を訪れる野鳥たちの観察を通じて、河川環境の保全について理解を深めて頂くこと、二月六日、平田市園町の宍道湖グリーンパークで、ホシザキグリーン財団・ゴビウスの協力のもと、「宍道湖バドゥオツチング'05」を開催し、家族連れなど三十二人が野鳥観察を楽しみました。

この日は、時折晴れ間ののどく穏やかな天候で、湖面には羽を休めるマガモやカルガモ、キンクロハシロなどが見られ、参加者たちを喜ばせました。

また、隣接する宍道湖自然館ゴビウスの館内も見て回り、斐伊川、宍道湖そして中海に生息する水辺の生き物ともふれあっていたいただきました。



▲妙見橋折返し点

出雲トーム
くにびきマラソン大会

建国記念日の二月十一日、神話のふるさと出雲市の「くにびき神話」にちなんで毎年開催されている『くにびきマラソン大会』に老若男女あわせておよそ二、三〇〇人が参加しました。

今年で二十四回目を数えるこの大会には毎年県内外から多くの参加者が集まり、また、ボランティアの方々協力を得て目の不自由な方たちも安心して参加できるようになっています。

この日は気温二度と厳しい寒さでしたが、観客の暖かい声援を受け、ランナー達は素晴らしい走り健脚を競っていました。



斐伊川放水路の工事实施状況

(平成17年1月以降の発注工事)



工事名	業者名	工期
斐伊川放水路 菅沢他用地管理工事	岩成工業(株)	自 H17年1月13日 至 H17年3月31日
斐伊川放水路 残土処理場整備工事	今井産業(株)	自 H17年3月3日 至 H17年12月27日

国土交通省中国地方整備局
出雲河川事務所

〒693-0023 出雲市塩冶有原町5丁目1番地
☎(0853)21-1850

メールアドレス E-mail: izumo@info.cgr.mlit.go.jp
ホームページ http://www.cgr.mlit.go.jp/izumo/homepage.htm

本誌に関するご意見やご要望などがございましたらお寄せください。

問い合わせ先: ふれあい放水路担当
放水路工事室 事業対策官